

平成29年11月7日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 工藤 稔

大同生命札幌ビル建築計画について

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長 工藤 稔）は、北海道札幌市中央区北三条西3丁目において進めております大同生命札幌ビル建築計画（以下「本計画」）について、概要がまとまりましたのでお知らせいたします。

平成30年春に新築工事を着手し、平成32年（2020年）春の竣工を予定しています。

本計画は、「札幌大同生命ビル」および隣地ビルと一体で建替を行うものです。計画地は、札幌市中心部の主要道路である「札幌駅前通」と「北三条通」が交差する「北三条交差点」に位置し、金融機関や大手企業のオフィスが集積する業務機能の中心地区であるとともに、商業機能の集積エリアでもあります。

建替により、建物全体の耐震性、防災性、機能性の向上、省エネルギー化等を推進します。また、「にぎわいの創出」や「札幌駅前通地下歩行空間への接続」などの地区計画に適合する建築計画とすることで、札幌市が進める都心まちづくり計画への貢献を図るとともに、市民のみなさまにご利用いただける施設の整備を通じて、更なる地域活性化の一端を担ってまいります。

《計画概要等》

項目	内容（予定）
所在地	北海道札幌市中央区北三条西3丁目1-1ほか
主要用途	事務所、店舗
敷地面積	約2,020㎡（約611坪）
延床面積	約24,000㎡（約7,260坪）
構造	鉄骨造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造）
階数	地上14階、地下1階
交通	JR「札幌」駅徒歩5分、 地下鉄南北線「さっぽろ」駅徒歩2分 （「札幌駅前通地下歩行空間」に直結）

※計画概要は、変更となる可能性があります。

【外観イメージ】



〈お問合せ先〉 広報課 TEL 03-3272-6206

《特徴》

- ・ JR「札幌」駅、地下鉄「大通」駅と連結する「札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）」と地下1階で接続し、雨や雪などの悪天候に左右されない快適なアクセスが可能な立地。
- ・ オフィス（3～14階）と低層部の商業施設（地下1階～2階）を予定。
- ・ 制震構造の採用、入居テナントの「BCP※」をバックアップする設備として72時間対応の非常用発電機による貸室への電力供給などを計画。
- ・ 2階には市民が集い憩える場所として樹木を配した開放感のある、にぎわいの広場を整備。

※「BCP」とは

企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のこと。

○札幌駅前通地下歩行空間接続部分（地下1階）イメージ



○にぎわいの広場（2階）イメージ



○計画地



以上